

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	感性センシングデザイン小委員会	主 査 名：松下大輔 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：倉田成人
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>構築環境のデザインにおいて、人間と環境の相互作用の解明は重要である。行動諸科学は、建築や都市空間における利用者の行動や心理を研究対象とすることにより多くの成果をあげてきた。エビデンスに基づくデザインのためには、構築環境における行動や心理を諸技術により計測、分析することが不可欠となる。本小委員会はこれを「感性センシングデザイン」と称し、実証的理論を積み重ねるとともに実空間への応用を目指した研究を行う。</p> <p>初年度：行動・感性計測技術、ヒューマンインターフェイスデザイン、深層学習等の人工知能に関する概念の調査・研究と他分野における取り組みについて調査・研究を行う。</p> <p>2 年度：行動・感性計測技術、ヒューマンインターフェイスデザイン、深層学習等の人工知能について、具体的な事例を交えた議論を行い、情報シンポ研究集会を行う。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：松下 大輔 (大阪市立大学) 幹事：柴田 滝也 (東京電機大学), 委員：宗本 晋作 (立命館大学), 猪里 孝司 (大成建設), 江川 香奈 (東京電機大学), 荻野 晃大 (京都産業大学), 加藤 俊一 (中央大学), 多田 昌裕 (近畿大学), 山田 悟史 (立命館大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画OS「建築・都市のセンシング」 参加者数 39名 『第 41 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 屋内測位に関する技術開発を行った。2017年12月にJST研究助成を得て研究に着手し、2018年4月に科研費を得て研究を継続中である。 2. 深層学習の書籍、セミナー参加、関連企業との意見交換により解析技術収集
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員が高齢化し皆多忙であるため委員会活動へのエフォートを割きにくい点
その他	